



安全衛生情報たかやま

労働災害による死傷者数（11月末現在）

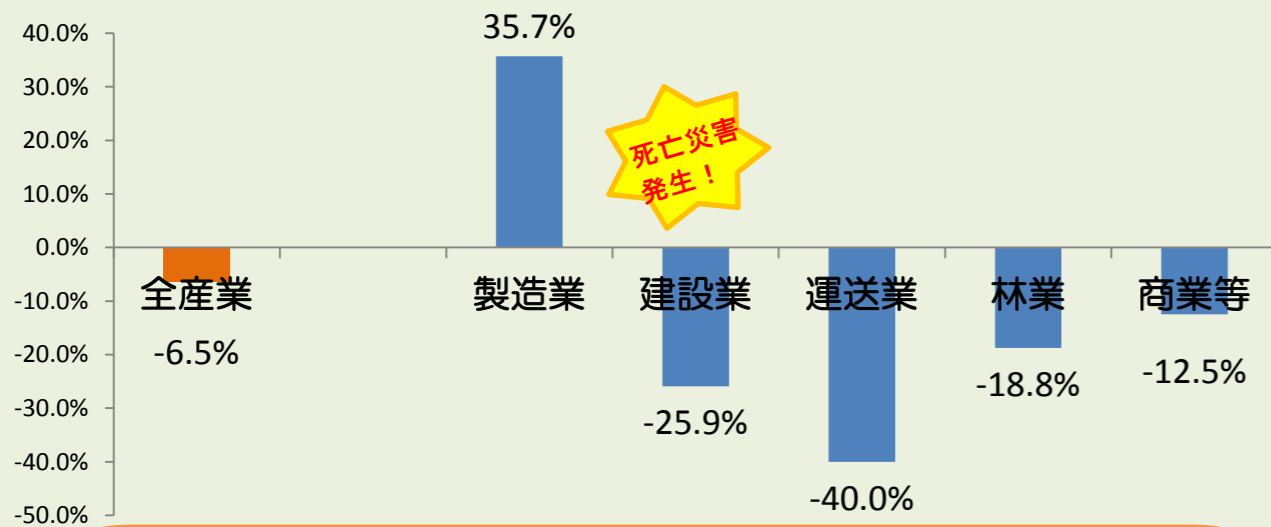
全産業

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 増減率
死亡者数	1人	5人	-4人	-80.0%
死傷者数	129人	138人	-9人	-6.5%

主要業種の死傷者数（詳細は、別途死傷災害発生状況をご覧ください）

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 死傷者増減率
製造業	38	(1) 28	-(1) 10	35.7%
建設業	(1) 20	(2) 27	-(1) -7	-25.9%
運送業	9	(1) 15	-(1) -6	-40.0%
林業	13	(1) 16	-(1) -3	-18.8%
商業等	42	48	-6	-12.5%

※労働者死傷病報告による休業4日以上死傷者数です。なお、（ ）は死亡者数で内数です。

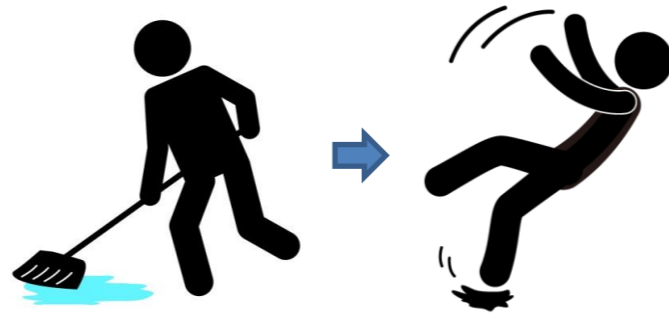


〔最近の労働災害に関するコメント〕

全産業における労働災害は、前年同期に比べて8件（6.5%）減少しました。しかし、11月末の統計には反映されていませんが、12月に死亡災害が1件発生しました。業種別に見ると、運送業が6件（40.0%）減と大幅に減少しています。しかしながら、製造業については10件（35.7%）増となっており、建設業は7件（25.9%）減となっているものの、12月に死亡災害が1件発生し、本年2件目の死亡災害となりました。

災害事例

床面の清掃作業中に転倒する。

業種	ビルメンテナンス業	災害の程度	休業3か月
事故の型	転倒	起因物	作業床
災害発生状況		災害発生原因	
作業床をモップで清掃中、濡れた床面で足を滑らせて転倒した。		1 床面が濡れていて、滑りやすい状態だったこと。 2 滑りやすい靴を履いて作業を行っていたこと。	
概略図			
		再発防止対策等	
		1 床面の清掃を行う際には、モップをよく絞り、濡れた床面を踏まないような手順で清掃作業を行うこと。 2 耐滑性の高い作業靴を履き、靴底の磨耗状態に応じて適切に交換すること。	
【コメント】 転倒災害は、今最も多い労働災害となっています。また、長期の休業につながることも多く、転倒災害防止は重要な取組となります。			

※災害発生状況は同種災害防止の見地から編集を加えており、原因・対策は代表的な事項を記載しています。

お知らせ

冬季無災害運動実施中！

「凍結・積雪による転倒災害を防止しましょう」

冬季（12月から翌年2月まで）における飛騨地区は、積雪・凍結・寒冷に起因した労働災害が毎年多発しています。

転倒災害が多く発生しているほか、屋根の雪下ろし等における墜落・転落災害、車やオートバイのスリップ等による交通事故も発生しています。

これらの災害を防止するため、労使一丸となって冬季無災害運動を推進しましょう。

冬季無災害運動の実施要綱およびリーフレットは、岐阜労働局のホームページに掲載しています。

検索

岐阜労働局 冬季無災害運動